

自然エネルギー社会をめざし あなたとご家族の署名をお願いします。

昨年の東日本大震災以降、ほんとうに地震が多くなりました。
あきらかに活動期に入った日本列島で私たちはこのまま原子力発電に
たより続けてよいのでしょうか。

再び、福島第一原発事故と同じようなことが起きたらそれこそ日本は
壊滅すると言われています。

生活の基礎であるエネルギーを原発に依存しない自然エネルギーに
切りかえる大きな社会の流れをつくるために、府中市でまず何ができ
るかを考え、「平和都市宣言」に習い、行政と市民が原発に依存しない
”自然エネルギー社会をめざす”という理念を共有し、確認するため
に、「都市宣言」を発することをめざして署名運動を開始しました。

府中市はすでに東京電力との契約を一部、解除しましたが、大陽光
発電の助成を増やしたり、様々な工夫で夏の暑さを避け、省エネ技術
を進める市民相談など自然エネルギー社会を目指す取組みは多々あり
ます。その出発点として、かつて戦争のない世界をめざして「平和都市
宣言」をしたように、原発に依存しないことを前提に、他市に先駆けて
「自然エネルギー社会をめざす都市宣言」をさせようというものです。

あなたのご協力をお願いいたします。

1. これは府中市議会への陳情署名です。
2. 署名される方の年齢制限はありません。
3. 市外の方の声も府中市に届けます。市外の方もどうぞ。

府中市に“自然エネルギー社会をめざす都市宣言”を求める署名実行委員会
実行委員長 本間 慎

ホームページ <http://fuchu-sengen.jimdo.com/> 電話 042-333-7744

実行委員会結成呼びかけ人)本間慎(東京農工大学名誉教授、けやき平和コンサートの会
会長、元日本環境学会会長)井出孫六(作家)、児嶋徹(医師 府中診療所長)、澤井行雄
(府中市農業委員)、千賀裕太郎(府中市景観審議会会長 東京農工大学大学院教授)
、竹内章(NPO法人府中かんきょう市民の会理事長)、玉川寛治(産業考古学学会前会長)
、宮本和郎(画家)、山内哲夫(全労済府中国立国分寺共済会幹事)
(裏面にこの署名簿に対する賛同人が掲載されています。ご覧下さい。)